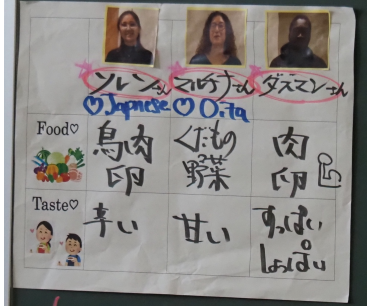


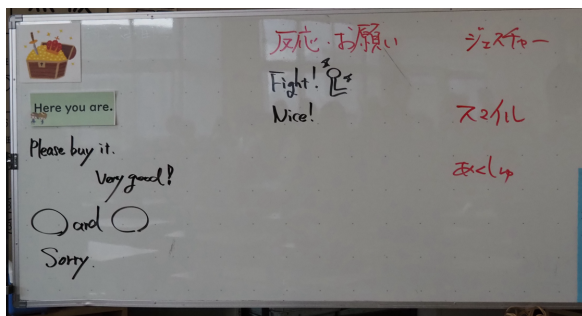
Today's Goal「留学生の好みにぴったりの食材を交流して、アイデアを広め合おう！」

(Final Goal:大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、大分大学の留学生にすすめしよう!)

本時は、大分大学の留学生に大分のことを好きになってもらえるようなオリジナルサンドのアイデアを増やすために、オリジナルサンドに入れると留学生に喜んでもらえるような食材について、友達と伝え合った。



児童は、事前に留学生に聞いていた好きな食べ物や味についてのインタビュー結果、「Classroom English Song」等の既習表現、中間指導でのおすすめ表現や困りの共有等を情報として活用していた。また、友達とより伝わるコミュニケーションをするためのジェスチャーや質問等も工夫して、意欲的にやり取りをしていた。



事後研究会では、大分県教育委員会の二宮指導主事から、「中間指導で、個の困りを全体で共有して解決して、個に戻す。担任は、困りを出した児童に最後にきちんと発話させていて、その児童は嬉しそうだった。」という成果や、「担任は相手意識の確認はよくできていたが、黒板左下にも位置付けてある『おいしい』『この大分の食材が大好き』等の児童の想いを中間指導の際に確認すると、既習表現の活用の広がりにつながったと思う。一度、じっくり一人で考えられる時間を確保してあげるのも有効な手立ての一つである。」等の指導をいただいた。

